

エコネットコンソーシアム活動状況報告(2019年10月～12月)

分類	活動状況
トピックス	<p>①CEATEC2019(2019年10月15日～18日)千葉市・幕張メッセ)にエコネットコンソーシアムより出展 ・「サービス事業者へのアプローチ強化」を狙い、ECHONET規格がSociety5.0の様々なサービス実現に使いやすく、さらにECHONET Lite機器で様々なサービス事業者・関連メーカーが参入可能となる世界観を紹介。ブースへは約400人の来場があり大変な盛況であった。 ・会場では、エアコン実機によるエネルギーマネジメント、血圧測定データを模擬したヘルスケア、家電機器のリモートメンテナンス、玄関・窓の施錠セキュリティなど、Web APIの適用で広がるサービス実現のイメージを紹介。併せて、特設展示エリアのラウンジシアターでは、ECHONETの現在・これからを紹介する講演を実施。</p> <p>②タイ・Smart City Solutions Week 2019にて、エコネットコンソーシアムブースとして出展。 2019年10月28日～31日、タイ・バンコク展示センタ (Bangkok International Trade&Exhibition Center) ・本展示会は、タイ政府機関のDEPA (Thailand Digital Economy Promotion Agency)、タイ配電公社のPEA (Provincial Electricity Authority)、Messe Frankfurt、EXHIBIZの共同開催であり、スマートシティ関連の技術・ソリューションを展示紹介している。 ・今回の出展を皮切りに、アジア地区でのECHONET Liteの認知度向上を図り、様々な国家事業にECHONET Liteが要件化されることを目指す。 展示ブースには、PEA長官、DEPA幹部をはじめ、ASEAN企業、ASEAN地区に進出の日本企業など約100名の来場者があった。</p> <p>③ホームアプライアンス・オープンイノベーションシンポジウム(第2回)を開催した。 2019年12月16日、浜松町・シーバンスS館 1階 大ホール ・慶應義塾大学サイバー文明研究センターとの共催でホームアプライアンス・オープンイノベーションシンポジウムを開催。 ・Dr. David Farber(慶應義塾大学サイバー文明研究センター共同センター長)より基調講演。モデレーター：梅嶋 特任准教授(慶應義塾大学サイバー文明研究センター)、パネラー：尾坂 情報経済課課長補佐(経済産業省 商務情報政策局)、Dr. David Farber、谷口 スマートエネルギー事業部長(NTTアノードエナジー 取締役)、鈴木 理事(エコネットコンソーシアム)により活発なパネル討議を実施。 ・長沢普及委員長より海外を中心にしたエコネットの普及活動状況を報告。参加者87名で盛況の裡に終了した。</p>
企画運営委員会	<p>①ECHONET Lite/ECHONET Lite AIF認証方法の改善検討 ・認証機関が審査時に利用する「形式審査マニュアル」の更新を検討、認証登録証の電子化に対応する等を盛り込む。 ・ECHONET Lite/AIFの認証申請書類を更新検討、申請者の間違いや質問が多い箇所の説明文を修正。</p> <p>②ECHONET Lite AIF国際標準化活動 ECHONET Lite国際標準化活動において、9月に国際規格原案(CDV)への移行が承認された後、CDの翻訳作業が終了し、2020年1月からCDV(DIS)投票が開始予定。</p> <p>③ECHONET Lite規格(IEC62394)更新活動 IEC62394 Ed3.0が発行された2017年4月以降、ERAB検討会ECHONET WGでのVPP対応などで機器オブジェクトのプロパティの追加・変更を5回実施している。Ed4.0として最新仕様に整合させるために、機器オブジェクトの追加、変更内容について検討。2020年秋の提案を目指す。</p>
技術委員会	<p>①ECHONET Lite規格書/システム設計指針 ・「ECHONET Liteシステム全体の信頼性確保に関する指針 第1版 Draft」について会員レビュー開始</p> <p>②機器オブジェクト詳細規定 ・機器オブジェクト詳細規定Release M向けに、会員の方々よりご提案いただき、新規機器オブジェクト検討開始。</p> <p>③アプリケーション通信インタフェース仕様書 ・「家庭用エアコン・HEMSコントローラ間アプリケーション通信インタフェース仕様書 Version 1.10 Draft」および認証試験仕様書について会員レビュー開始 ・「ハイブリッド給湯機・HEMSコントローラ間アプリケーション通信インタフェース仕様書 Ver.1.00 Draft、認証試験仕様書 Ver.1.0*用 HEMSコントローラ/ハイブリッド給湯機用 第1版 Draft」について会員レビュー開始</p> <p>④試験ツール ・試験シナリオ、試験手順書などを改訂し、AIF認証試験ツール(スマートメータ以外の機器向け試験ツール)をaif_tool-1.3.2に更新し、会員公開(2019年10月)。</p> <p>⑤ECHONET Lite WebAPI ・ECHONET Lite Web APIガイドラインの機器仕様部Ver.1.1.0を一般公開(2019年11月)。今回の公開版より、ガイドラインの名称を「API仕様部」、「機器仕様部」と名称を変更。</p> <p>⑥プラグフェスト開催 ・第23回プラグフェスト(2/13～2/14@神奈川工科大学HEMS認証支援センター)の開催案内・参加募集発信。</p> <p>⑦その他 ・WebAPIのイメージを見せる展示会向けデモンシステム開発完了。CEATEC 2019にて展示。 ・台北国際会議センター(TICC)にて開催された「2019 Smart Grid and Smart Community Workshop」にて、エコネットコンソーシアムの取組みの紹介講演および、ECHONET Lite AIF認証ツールと、Web APIに関するデモンストレーションを実施 ・ET & IoT Technology 2019のカンファレンス内の「エコネットコンソーシアム セミナー」にて、WebAPIのプレゼンを実施</p>
普及委員会	<p>①台湾の標準化フォーラムで講演 ・10月1日(火)、台北 台湾大学病院 国際会議センターにて開催された台湾の標準化団体TAICS主催の「グローバル標準フォーラム」にて、「エコネットとスマートホーム」のタイトルで、ECHONET Lite、日本市場での搭載機器の普及状況、IoT社会への新たな戦略であるECHONET2.0の取組みの状況などを紹介した。</p> <p>②ET/IoT Technology 2019にて、ECHONETの現在・これからを紹介する講演を行った。 ET/IoT Technology 2019「エコネットコンソーシアムセミナー」(2019年10月22日)千葉市・幕張メッセ ・ECHONET2.0取組み、WebAPIガイドライン説明、AIF認証の取組み、家やマンションへの具体的サービス事例などを紹介。</p> <p>③台湾標準化局が神奈川工科大学のHEMS認証支援センターを見学 ・2019年12月25日に、台湾標準化局(Bureau of Standards, Metrology and Inspection (BSMI))、テレコムテクノロジーセンター(Telecom Technology Center)、台湾経済研究院(Taiwan Institute of Economic Research)、計11名の方にHEMS認証支援センターを見学いただき、一色教授および一色研究室の方々から、HEMS認証の活動を紹介した。</p>